

0:00

死にたくないよ寝てなんかそんな言葉を

0:03

言ってたのかな違いますけどって思って

0:06

もうはっきり思いましたしねその9歳の壁

0:09

っていう言葉も私ちょっと正直知らなかつ

0:13

たのであの調べてみたんですよそしたら

0:15

あーもうこれはもう

0:17

娘には当てはまらない言葉だってもう9

0:20

歳の壁もちゃんと超えたって私はもう思っ

0:23

てましたのでねよくその

0:26

聴覚

0:26

障害者

0:27

学力知力を取るっていうその

0:30

断定ですよこれにはもうそれをイコールと

0:33

言うっていうこと自体も差別ですよ

0:36

偏見ですよって単なるという風に思っ

0:39

たらもう怒りがこみ上げてきていやそんな

0:43

こと言ってますけどあなたたちは絢香の

0:46

11年間のこの

0:48

努力を

0:49

頑張りを全く知らないですよってもう

0:52

本当にもう直接言いたい気持ちでいっぱい

0:56

でしたねもう本当にその言葉を言われから

1:00

はもう毎日その

1:02

悔しい感情を押し殺して生きていくのが

1:05

もう苦しくて苦しくて今現在もなんです

1:08

けどねよく相手もそういうことを堂々と

1:12

主張してきたなって思うんですよ

1:15

やっぱり保険会社っていうのはやっぱり
1:19
会社の利益を考えてやっぱり1円でも
1:23
少なくしようっていう思うのがまあ会社と
1:26
してはそういうことなんでしょうけどだ
1:29
からといってね保険会社の会社員である前
1:33
にねやっぱり一人の人間として人として
1:37
やっぱり言っているいいことと悪いことって
1:41
いうのはわかりませんかあってあなたたち
1:44
そのお金のためなら何を言っても許され
1:47
るっていう歌詞いいなと思うんですよその
1:50
保険会社の社員である前に人としてどう
1:54
あるべきかその考えてほしいとそうです
1:56
すごく言いたいですね
2:01
この人権差別的な発言がどうしても私に
2:06
としては悔しくてたまらなかったのが当時
2:09
仕事しながら書く
2:11
報道者には電話で伝えてなんとか取り上げ
2:14
て欲しいと
2:16
訴えてきました僕
2:17
父親として
2:18
許せない言ったら10対0ですから娘の命
2:22
を奪われてなおも
2:24
聴覚障害があるからってひどいこと人権
2:27
差別的なこと言われてもうどうしても許せ
2:29
ないとにかく
2:30
娘の前で謝罪させたいというその気持ちで
2:33
いろいろやってきましたで朝日新聞の取材

2:36
を受けてその記事がきっかけで弁護団そこ
2:39
には耳の聞こえない弁護士の先生もおられ
2:42
ますまたそこから大阪
2:44
聴力
2:45
障害者協会大竹会長
2:47
筆頭に支援をさせてほしいという話もき
2:50
ましたで
2:51
署名活動すると結果1年半ぐらい続けて
2:56
署名活動をして
2:57
累計数11万5000
2:59
室照明が集まりました本当に私どもの
3:03
訴えが皆さんの耳に届き感謝でいっぱい
3:06
です
3:08
最後の署名を
3:10
渡す時に言わせてもらいましたひどい差別
3:12
を言われてきましたけども
3:14
聴覚障害者のコミュニケーション
3:17
環境っていうのはいいように変わってきて
3:19
いる携帯端末使って
3:21
UDトークっていう便利な道具としてある
3:24
んですね相手側が言うコミュニケーション
3:27
取られへんからっていうような言い分は
3:30
もう古い話なんですねなので僕は
3:33
裁判所に対してもう現状今の時代は変わっ
3:37
てきているから
3:38
過去の判例にとらわれず今の現状を
3:42
ちゃんと理解した上でちゃんと判決して
3:45

くださいねとも強く言いました
3:49
はいということですねとても大切な話を
3:52
そうですね聞かせてもらったと思います
3:54
大きくね僕3つあったと思うんですけど
3:56
まず1つ目ですねご主人様が話されたこれ
4:00
今何時転換ですかこういう風なはいあの
4:04
病気を持ってる方でも簡単に
4:07
免許の更新ができてしまう
4:09
この分についてはどうですかねお話の中で
4:12
あたりね
4:13
病院とやっぱり公安協会が連携してこれは
4:16
もう法律で決めて
4:18
免許これ持てませんいうことを公表せない
4:20
かねぜひそのような運動していきたいな
4:23
と思います以前にもなんか鹿沼市の方で
4:25
同じような重機の
4:28
暴走事故があってそこでもなんか5名6名
4:31
なくなられた事故が同じようなことがね
4:35
繰り返されないように国民の責任だと思い
4:37
まずよこういうことは2つ目が保険会社の
4:40
人権
4:42
侵害とも取れるような発言の部分ですよ
4:45
ここについてどう思われますか財産は
4:49
証券会社お金しか価値ないから人の心持っ
4:52
てないですねまずもう絶対思います
4:54
やっぱり人としてどうあるべきかと思うし
4:57
やっぱり保険会社の社員さんももっと自己

5:00
の主張してからか人として悪いこと悪い
5:04
ダメなことはダメならぬことはならないので
5:07
あるからねそういうことをきっちりところ
5:09
に持って行動してほしいと思いますので僕で
5:12
ずっとまあお話をお聞きして感じてたの
5:14
はお金じゃないんですよでその
5:19
娘さんのね名誉だとかご夫妻が心の整理を
5:23
つけたいとかそういうところなんですよ
5:29
お金のことしか言うてないからそこがね
5:33
そこが大きな問題ですよ三井住友海上に
5:36
言いたいのはやっぱり示談代行サービスと
5:39
してですね加害者の代理としてプロとして
5:42
入ってきてるわけですから
5:45
被害者の方の心情をですね
5:48
考慮したが発言だとか対応だと本当に大事
5:51
なところは気持ちのところだと思うんです
5:53
よ
6:03
それはですねこの三井住友海上にですね
6:06
発信していきたいなと思いますね
6:09
それとあとやっぱり僕前から思ってるん
6:12
ですけどやっぱりねこの三井住友海上の
6:17
顧問弁護士がこの
6:18
被害者と相對することの
6:22
難しさこれあると思うんですよやっぱり
6:26
顧問弁護士はもう三井住友海上の方
6:29
ばかり見て仕事をするわけですから三井
6:32
住友海上の利益というと1円でも支払い
6:36

保険金を減らすことじゃないですか
6:37
おっしゃる通りですねただね加害者の方は
6:40
そうじゃないと思うんですよそれはそう
6:42
ですいち早く
6:44
被害者の方はですね正当なね
6:47
賠償金を受け取って普段の生活にね戻れる
6:50
ようにそういうことを求めているはずなん
6:52
ですよですんでこのね今の制度この
6:57
保険会社の
6:59
顧問弁ですが示談介入するというふうな
7:02
ところまで問題点がちょっとあるんじゃない
7:05
ないかなとこれものすごいありますね
7:07
もちろんねその適正な
7:09
賠償金よりも多くの賠償金払うとはそんな
7:12
は思わないんですけど
7:14
減らすために入ってくる弁護士なのかそれ
7:17
がね加害者のために
7:19
適正な賠償金はいくらなのかということ
7:22
調べるために入ってくる弁護士なのかそう
7:25
ですねこれ全然違うと
7:27
これがね私ちょっと2つ目ちょっと思った
7:30
ことですかねだから同じ
7:32
鑑定というか料理のもとできっちり
7:34
話し合える弁護士同士やったらね何も問題
7:37
ないし加害者と被害者が当事者やねんから
7:39
保険会社なんか元々第三者や
7:43
契約に基づいて保険金払えよという話だね

7:46
加害者の方と
7:48
被害者の方と保険会社の方が向いてる
7:50
ところは違うくてですね
7:52
こちょっとね保険会社の利益のために
7:55
介入してくるコーン弁護士のあり方これも
7:57
ちょっとねこの動画を通じて私ちょっと
8:00
発信していきたいなと思うんですね
8:08
出たと思いますでこれ最後ですね最後がご
8:12
主人様がおっしゃられてた時代が変わっ
8:14
てるんやと9歳の彼がいつも文献なんやと
8:18
ね今やあれですよ
8:21
携帯でねかざしたらもう対応でも韓国語で
8:25
もね
8:25
翻訳できるんですよで言葉でね話したら
8:29
日本語で翻訳されるような
8:32
携帯電話でねその外国の方と話ができて
8:36
外国語の
8:38
教育イランのちゃうかと言われてるような
8:41
時代なんですよ
8:45
27日これ判決がね下がるんですけども
8:49
そのようなですね
8:51
過去の
8:52
古いような
8:53
証拠が
8:54
重要な証拠として取り扱われてそのような
8:58
判決が出るのか今の時代に即したですね
9:02
判決が出るのか間もなくなんですけど27
9:05

日の判決

9:06

DAとしてもねウォッチしていきたいと

9:08

思います私もそれについてはね

9:10

裁判官に言いたいねはい

9:12

裁判官は両親を持って判決を下して

9:15

ください

9:22

被害者の方がね一番望んでいることはお嬢

9:25

さんに対して

9:26

娘さんですねに対してきっちり

9:28

謝罪してほしいということですこれが一番

9:30

大事です保険会社としても加害者の代理

9:34

や言う以上

9:35

謝るの当たり前やからね人の心あるんやっ

9:37

たら

9:38

誤り

9:38

三井住友英語で言いますよやっぱりねそう

9:43

ですよお話を聞きしてねもう娘さんと

9:46

お母さんがねこの娘さんがね

9:49

将来ハンディキャップを背負わないように

9:51

いろんなね幼い頃から

9:54

努力してきた時間があってそれをね無視

9:58

するようなねそれが仕事とはいえですよ

10:00

仕事なのはわかるんですけどそれに対して

10:04

ですなあ名誉をね回復するようなね

10:06

先ほども言いましたけどお金じゃないと

10:09

思うんですよこの娘さんとの

10:12

過去をね歩んできた日々それに対して

10:16
政治つけたい
10:17
ということが最も望んでいらっしゃるってこと
10:20
じゃないかなと保険会社の公弁護士である
10:23
前に保険会社の社員である前に1人のね
10:26
人間としておっしゃる通りそこはね
10:29
ちょっとね三井住友海上の
10:32
代表取締役にもなっておっしゃる方だし
10:34
たっけちょっとしちゃいました
10:41
この声届いてますでしょうかちょっとね
10:43
これはですねあなたの責任でもあるわけ
10:45
ですからこの娘さんの名誉が回復される
10:48
ようにねご両親の持ちがですね整理される
10:52
ように何らかの形で
10:54
答えていただきたいなと思います保険会社
10:56
は誰のために何のためにあるかという原点を
10:58
もっと考えなあはい
11:02
ということでお願いします
11:12
ありがとうございましたありがとうございました
11:14
ました

From:
<https://WVIC.LINK/wv/> - 被害者の知識集成 - Wiki for Victim - 100人で一歩ずつ行きたい

Permanent link:
https://WVIC.LINK/wv/doku.php?id=%E4%BA%A4%E9%80%9A%E4%BA%8B%E6%95%85:%E5%89%8D%E7%B7%A8_log

Last update: 2023/03/01 08:01

